

平成23年度第1回信州大学FDショートセミナー
新学期スタートアップセミナー

新学期をスムーズにスタートさせよう！

全学教育機構准教授 松岡 幸司
(高等教育研究センター 兼務)
maulwurf@shinshu-u.ac.jp

I. 導入・概説：FDとは何か？

1) FDとは？

FD (Faculty Development) : **大学教員の資質開発**

・大学教員の職務＝研究・教育・大学運営

- 研究に関する**資質開発**

⇒**研究者**としての資質向上

- 教育に関する**資質開発**

⇒**教育者**としての資質向上

＝主にFDと呼ばれている部分

- 大学運営に関する**資質開発**

⇒**大学運営**を行う上での資質向上

II. 現状：学生は不安

1) 08年度共通教育に関するアンケートから

- ・入学後、授業を受けるにあたり不安を感じた
ことがありましたか？

あった+少しあった = **87.8%**

- ・不安の内容は？

大学での授業の受け方 = 139/516人

26.9%

II. 現状：学び方の変化

高校（予備校）までの学び方

- ・完備されたカリキュラム
- ・よく準備された教科書・教材
- ・豊富な参考書・問題集
- ・カラフルでノートのとりのやすい板書
- ・自主的な発言を求められない
- ・レポートなんかない

受動的で待っていればよかった...かな? (^_^;)

II. 現状：学び方の変化

大学での学びは？

- ・ディスカッション
- ・意見を求められるグループワーク
- ・板書の(少)ない講義
- ・フィールドワーク
- ・レポートの作成・提出
- ・プレゼンテーション
- ・資料を自分で探して調べる...

新しいことがてんこもり...(-_-)

II. 現状：学び方の変化

これは...

初年次(高校→大学)に限ったことではない！

↓

共通教育→専門課程の移行においても生じる！

↓

☆大学(初年次/専門課程)で学ぶにあたって

⇒学生は、学び始める前に/学びながら、**学び方**
を学ぶ必要がある！

＝教員は、**学び方の示し方**を身につける必要が
ある！

☆☆☆個人作業☆☆☆

ここまでの内容を踏まえて、初回の授業にはどんな学生が来ると考えられますか？

想像して、なるべく具体的に書き並べてみてください。

Ⅲ. 初回の授業に向けて

授業開始前に考えておきたいこと

1) 生徒と学生

生徒：ドイツ語ではSchüler

⇒ lernen: 学ぶ, 学習する(=learn)

= 高校まで

学生：ドイツ語ではStudent

⇒studieren: 研究する, 専攻する, 大学で学ぶ

= 大学生以上

⇒「学生」に接する態度が必要

☆☆☆個人作業☆☆☆

初回の授業に来た学生に、どのような態度で接しようと思いますか？

想像して、なるべく具体的に書き並べてみてください。

Ⅲ. 初回の授業に向けて

授業開始前に考えておきたいこと

2) 初回の授業に向けて(1): 心構え

・常識？

教員にとっての常識

⇒学生にとっての常識ではない可能性が大！

・自分の学生時代を振り返って・・・

- 自分の教わったように教える... (ちょっと待って)

大学教員になった学生と目の前にいる学生を重ねてしまっているのだろうか・・・

ドイツ語教育での格言^①

自分が教わったように教えてはいけない。

Ⅲ. 初回の授業に向けて

授業開始前に考えておきたいこと

3) 初回の授業に向けて(2): 具体的な準備

・コンテンツ

- オリエンテーション

シラバスの説明：読んでいない学生、多いですよ！

補足：シラバスに書いていないこと、ないですか？

- 配布物：何を学生に持たせたいか？ (資料1)

受講にあたっての注意事項の詳細は？

後でしっかり確認して欲しいこと、ありませんか？

- 約束事：

何分までの遅れが「遅刻扱い」ですか？

遅刻の回数と欠席の回数の関係は？

学生の理解度・認識度を、必ず確認しましょう！

2010 受講にあたっての注意事項 (ドイツ語 [文法] I)

I. 成績評価について

1. 前期の前後半それぞれの成績のつけ方 (100点) = 平常点 (50点) + 試験点 (50点)

2. 平常点 (50点) = (出席状況) + (小テスト・口頭試験)

3. 試験点 (50点) = (試験の得点率) × 50

4. (中間試験まで=50点) + (中間試験の後=50点) = 100点

II. 授業参加についての注意事項

1. 学習方法について

・復習に力を入れて下さい。その際、理解できた点・理解できなかった点をはっきりさせ、わからない事などあったら、次回の授業時に、必ず質問しよう！

・新しい言語を学習する際、声に出して読む事がとても重要です。幸いドイツ語は他の言語に比べて読みやすいので、毎日のように音読しよう！

・NHKのテレビ・ドイツ語会話やラジオ・ドイツ語講座なども活用すると良いです。

・課題が出た場合には、積極的にやろう！わからない所は、「なぜ・どこがわからないのか？」をはっきりさせるのも、課題をやる際に大切な事です！そこまでやってくれば、問題はけっしてなくても、平常点に加算されます！

2. 授業に参加する際の態度について

- ・授業は君達のためのものなので、説明された事がわからなかったり、理解しにくかったりしたら、必ず質問するなり、**何らかの意思表示をして下さい!!**
- ・初めて学習する言語なんだから、「わからなくて当たり前!」くらいのもので、質問などは遠慮しないように! みんなの代わり、と思って、どしどししよう!
- ・遅刻は極力避けるように! 授業の妨げになり、他の人の迷惑になります。やむを得ず遅れてしまった場合は、静かに後ろから教室に入って来よう!
- ・授業中は、携帯電話の着信音を切っておくこと!
- ・休んだ場合は、他の人に授業内容を聞いたり、e-Alps(e-Ches)で確認したりして、自分で補っておくこと。もちろん次の授業時間にわからなかった事を質問するのは歓迎です!

3. その他

- ・語学の学習には得意・不得意の個人差があるのは僕自身の経験からわかっていますが、授業中に細かく気を配るつもりなので、苦手な人も積極的に授業に参加して欲しいです。
- ・ドイツ語の向こうには、ドイツ人の姿や心が見えます。そういうものを意識しながら勉強すると、興味がわくかもしれない...
- ・真面目で、リラックスした楽しい授業を展開できるように努力するつもりです。そのためには、君達の協力や提案が必要です。だから、遠慮なく質問や意見を出して行って欲しいです。一緒に楽しく「ドイツ語」して行こう!
- ・質問は、E-mail で受け付けます。(携帯からのメールも OK! ただし受信設定に注意!)

メールアドレス: maulwurf@shinshu-u.ac.jp
 メール送信の場合は、①件名を必ず入れる! ②本文に受講授業名と名前を記す! こと。
 ホームページ (mixi やってます ^^)
 もぐらのページ: <http://www.maulwurf.jp/>

Ⅲ. 初回の授業に向けて
授業開始前に考えておきたいこと

3) 初回の授業に向けて(2): 具体的な準備

- ・流れ
 - 導入
いきなり始める? / 導入に何かする? (自己紹介とか?)
 - テーマ: 今日は何をしますか?
メインテーマとサブテーマ
オリエンテーションとその他に...
 - 確認:
学生に伝わってますか?
 - 次回に向けて
次回の予告や準備の内容・仕方を説明しましょう。

Ⅲ. 初回の授業に向けて
授業開始前に考えておきたいこと

3) 初回の授業に向けて(2): 具体的な準備

- ・履修についての心構えと成績評価の方法
 - 授業の形式・スタイル・流れ
最初に説明しておくことで学生も安心!
 - 履修にあたって望むこと
こんな風に取り組んで欲しいんだよ、と。
 - 出欠席
いつ、どうやって確認しますか?
 - 成績評価の方法
学生に不安がないように説明した方がいいですよ。
 - 単位とは?

Ⅲ. 初回の授業に向けて
授業開始前に考えておきたいこと

3) 初回の授業に向けて(2): 具体的な準備

- ・大切なことは:
 - 教員と学生で**共通認識**をつくる
⇒学生自身が後で確認できるように配布物の活用
 - 学生の**不安を取り除く**
⇒安心して受講できるように
 - 学生の**やる気を出させる**
⇒よ〜しっ、やるぞ!と思わせたいですね
 - **意識化**
⇒始まるぞ!という意識づけ

Ⅲ. 初回の授業に向けて
授業開始前に考えておきたいこと

4) その他

- ・LMSの活用
Learning Management System: eAlps

3	第3回: 10月15日(金)	<input type="checkbox"/>
	配布プリント	
	今日の授業について	
4	第4回: 10月22日(金)	<input type="checkbox"/>
	配布プリント	
	【締切延長】レポート課題(10月22日出題)	
	今日のpptファイル	
5	第5回: 10月29日(金)	<input type="checkbox"/>
	配布プリント	
	第5回目 授業内容確認シート	
	今日のpptファイル	

Ⅲ. 初回の授業に向けて 授業開始前に考えておきたいこと

第6回目、10月29日(金)の講義で使用するプリント(pdfファイル)です。
授業プリント
Silent Spring

次回読む作品(レイチャール・カーゾン『ピンス・オブ・ワンダー』)のプリントは、『第6回目 11月12日』のトピックにアップしてあります。
各自、あらかじめダウンロードして読んでおくように！

授業の確認課題も
ウェブ上で提出、
管理も簡単！

授業の数日前にプリントをアップ！

『沈黙の春』は、1960年代に書かれた作品で、ネイチャーライティング環境文字の古典として、『環境問題を考える際のお読書』とされています。60年近くも前に書かれた、今は環境汚染の状況も変わってきている現代に、この作品を読む意味について、今日の講義内容をふまえて200～300字程度で、具体的に書きなさい。

追加・補足のプリントや、授業内容の確認で、欠席者も自習が可能！

今日使用したPower Pointファイル(pdf) → [ここ](#)

Ⅳ. 授業運営：軌道に乗せるには？

1) 初回の授業において

- ・教員も学生も緊張してますよ(^^)

←どんな先生？怖い？難しい？

⇒対話(双方向性)を意識してみましょう！

- 全体を見渡したり、教室の一部に語りかけたり
- 問いかけてみたり
- いろいろな学生の表情で反応を読み取ったり

- ・レスポンスカード・ポートフォリオの活用

- わかったこと/質問事項を授業最後に書かせる
- 出欠席管理にも使える

Ⅳ. 授業運営：軌道に乗せるには？

2) 授業のスタイル

- ・早い時期に共通認識にしましょう
- 教員のキャラクター
- 問いかけが多い、毎回小テストがある...

3) 授業のサイクル(資料2)

- ・「導入～まとめ」までの流れ
- 共通認識になれば、学習のリズムになります
- ・配布プリントの活用
- プリントの使い方がわかれば学習も容易に
- ・メリハリをつけましょう
- 中間の雑談で気分転換、個人・グループワーク

参考資料 2：簡易教案例

授業日：10月18日

配布プリント

- ・練習プリント(教科書別冊問題集 p.40 練習問題 2)

授業内容(流れ・テーマ・確認)

1. 導入：小テスト『分動動調』を解説(解説の際は、崩りと倍率を交換する ⇒ 回収)
2. メインテーマ：分動動調の理解 ⇒ 『分動動調の理解』(Kikunaga) を例に、『分動動調』の理解
3. 例題で理解と解説：教科書 p.31 例題 2
4. 練習と解説：教科書 p.33 練習問題 2
5. まとめ：今日の理解と次回へのつながり(自習と確認の指示)

今日の情報：ドイツのレストランでは...

宿題・予復習

- ・宿題：練習プリント p.40 練習問題 2 ⇒ 次回授業時の冒頭に答え合わせ
- ・『分動動調』について復習しておく。教科書 p.32 を読んでおく。

注意事項・授業後のコメント

思ったより『分動動調』に対する理解が浅かった... 解説プリントを eAlps にアップ ⇒ 次回、要確認！

Ⅳ. 授業運営：軌道に乗せるには？

4) 意識化

- ・学生の意識化が進むようにしましょう
- この授業科目の位置
- 今日の授業テーマの位置
- 各コンテンツの意味
- ⇒「部分」と「全体」のつながりの意識化

例えば：

- 毎回の配布プリントの形式を統一する
- テーマの明記とシラバス中の位置を明確にする

Ⅴ. まとめ：質疑応答

全学FDの年間計画(アウトライン)

☆新任教員研修

4月初旬、5月初旬の研修会、9月の研修合宿

☆FDショートセミナー

- ・松本会場：毎月第2火曜日16:30～18:00
- コンテンツによって遠隔配信/出張開催
- ・テーマは、随時募集中！
- ・希望に応じて臨時/出張開催も歓迎

☆FDカンファレンス

- ・9月後半に行われる合宿

☆その他、各種講演会やセミナーを開催